慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	高野岩三郎著 統計学研究
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1915
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.9, No.6 (1915. 6) ,p.693(97)-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	批評と紹介
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19150601-0097

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

強制權は各人の意思に基きて生じたるものにあらず、隨つて其意思に反して之を拘束するの權力を有するものにして、前者と大に其性質を異にせり。されば私人團體の有する權力は寧ろ命令權と稱するの穩當にして、之を強制權と認むるは正鵠の見解にはあらざるなり。從つて強制權を有せざる私人團體の權力は、到底經濟政策上の權力となるを得ざるや勿論なり。

七、以上述べたる所によりて、前號に於ける山本氏の答辯に對する疑問を盡したるが、尙一言すべきは、予の前論に於て、氏が何故に私人團體と個人との間に差別を設け、後者を排して前者のみを經濟政策の主體となしたるやに關して質問を發したるに、此問題に對しては今回の答辯中一言も論及せらるゝ所なし。然れども氏は前述の如く各人が組合規約を作り、之に由りて拘束せらるべきことを約する時は、此組合の拘束力は當然經濟政策上の强制權となり得べしと主張するを以て、斯くの如くむば、個人も亦經濟政策の主任となり得ざるの理あるべからず。何となれば一人の企業者と多數の勞働者とが所謂勞働協約を締結し、勞働者が企業者の命令を遵守せんことを誓ふときは、爾後企業者の命令は勞働者を强制するの權能を有するに至ることと組合の規約と毫も異る所なかるべければなり。要するに氏の議論を一貫するときは、個人をも經濟政策の主體となすにあらずんば、論理の徹底を得ざるに至るべし。

之を要するに上來縷々せるが如く、今回山本氏の與へられたる答辯に對しては、予は未だ以て遽に推服すること能はざるなり。本誌編輯主任高城仙次郎氏の言に由れば『由來我國に於て論爭を事とする者の大多數は敵手の議論が正鵠を得たるものなると否とを問はず、全部之を否定するの僻あり』（國民經濟雜誌第十六卷第三號所揭）と云ふ。予は元來論爭の爲めに、論爭を好む者にあらず、又猥りに新奇を衒ひて敵手の議論を盲目的に否定し、去るものにもあらざるなり。然るにも拘はらず、山本氏の所說に對して徹頭徹尾、之に反對せざるを得ざるは、予の甚だ遺憾に堪へざる所なりとす。

（大正四年五月五日稿）

批評と紹介

高野岩三郎著『統計學研究』

大正四年五月大倉書店發行
菊版六百五十六頁定價金二圓五十錢

本書は東京帝國大學法科大學に於て統計學の講座を擔任せらるゝ高野博士が過去十數年間に於て『國家學會雜誌』、『法學協會雜誌』、『京都法學會雜誌』、『國民經濟雜誌』、『統計集誌』等の紙上に發表せられたる論文二十四篇を集錄編纂せるものなり。此二十四篇の論文中二篇は統計の理論に關するものにして、五篇は統計の方法を論じ、殘餘の十七篇は人口の靜態及動態並に經濟現象等に關する統計的研究なりとす。而して此最後の統計的研究中外國の事情に關する二三の論文を除き他は皆著者自身が我國の狀態に就きて試みられし研究なり。其研究問題の主なるものは結婚、出生、死亡、出生と季節との關係、國民所得等なりとす。此等の獨創的研究は本書の中堅にして、著者の最も意を用ひられしものなるが如し。

著者は本邦經濟學界に於て最も精密確實なる研究法を用ひらるゝ學者の一人にして、其精緻綿密なる調査計究并に穩健公平なる推斷は本書に戚せたる著者の研究に遺憾なく證明せられたり。されば本書は單に本邦人口の狀態に就きて正確なる知識を提供し大に讀者を啓發する所あるのみならず、社會狀態の科學的研究に關ずる一好典範を示し讀者に一大刺戟と幾多有益なる暗示とを與ふるものなりと謂ふ可し。吾人は著者が多忙の身を以て此等貴重なる論文を收集編纂して學界を裨益せられたることを謝し且つ祝せざるを得ず。

野村商店編纂『株式年鑑』（大正四年度）

大正四年四月大坂野村商店發行
菊版七百三十七頁定價金參圓

本書は大坂市東區備後町株式仲買商野村商店調査部の編纂に係るものにして、主として本邦に於ける公市債、債券、株式に關する統計を戚す。公市債債券に就きては各其發行期日、發行額、未償還額、償還期、利率等を擧げ、公債に就きては明治二十一年以後大正三年迄の相場表を示し、市債、債券に就きては最近兩三年の相場を戚せたり。銀行會社は主なるものを企業の性質に從ひて銀行、紡績、取引所、鐵道等十七種に分類し、各其設立期、資本金額、株數、現任重役氏名、決算期、配當金交附期日、配當率、現株主數、大正三年度の貸借對照表、并に損益計算表、最近數箇年間の株式相場表を揭げ、且